

ありがとう

Arigato

平成27年度 2年A組

如月 / 4

学級通信 88号

個人の問題、クラスの問題

昨日、昼放課に職員室で仕事をしていると先生の前に座っている彦田先生とALTのマイケル先生が次の時間の授業の打ち合わせをしていました。すごい早さの英語で話をしていたのでさっぱりわかりませんでした。途中で「ベストクラス」と彦田先生が言われたので、「A組のことですか？」と聞くと、「もちろんです」と答えてくれました。5時間目が英語だったので、きっと冗談ではなく本当にそう言ってもらえたのだと思います。

美術の時間のあとも、山田先生が「A組はものすごく集中して彫っています」と教えてくれました。以前は美術の時間に私語が多いと言われていた人もいたようだけれど、彫刻刀を使っての作業ということもあり、随分集中して授業に臨んでいるようです。

そう思っていた矢先、火曜日の帰りのSTのあと、授業中に注意をされたという人たちが申し出にきました。注意をされたこと自体はもちろん良くないことだし反省すべきですが、教科の先生に「担任の先生に言いなさい」と言われたことをきちんと守ったのはえらいと思います。しっかり反省するように話してその場は終わりました。それで終わりにするつもりでした。

ところが、何人かの人たちがそのことを日記で書いてくれました。内容は、注意された人を責めるわけでもなく、もちろん、注意した先生に対しても特に何もありません。共通していたのは、「注意された人だけが悪いのではなく、これはクラスの雰囲気の問題だ」ととらえている、ということです。そういうふうにとらえてくれたことはとても嬉しく思ったし、それを日記に書いて知らせてくれたことも、とても嬉しかったです。

授業中に寝ていたり他のことをしていたりしても、誰かに迷惑をかけている訳じゃないし、別に良いじゃないか、という考え方があるのはわかります。けれど火曜日の授業の時のように、注意をされれば授業の流れは止まります。みんなの集中も途切れます。もし注意をされなくても、目に入ってしまうややる気を失うことにつながるかもしれません。テストや成績は個人で結果が出るけれど、授業はクラスで行うものです。みんなが気持ちよく学習に臨めるように雰囲気をつくっていかなくてははいけないし、周りのことを考える心を育てていくことも、クラスで過ごすことの意味だと先生は思います。

だったら静かにしていればいいのか、というところも違います。意見がたくさん出た方が自分との違いに気づけます。先生への質問も、それに気づけなかった人からすればありがたいことです。遠慮せず聞きましょ。そして、自分では解決できないようなことがあれば、ぜひ相談してください。直接でも日記でもかまいません。今回のことは日記に書いてくれたおかげで気づけました。2Aも残り2ヶ月を切っています。お互いが気持ちよく同じ時間を過ごせるよう、協力していきましょう。

